

新商品の開発に 女性ならではの 視点と感性を 生かしてほしい



代表取締役社長
松田 行司さん

弊社では、自動車部品や自転車タイヤの製造などでこれまで培ってきた、独自の技術力や開発力を生かして、新たな分野への挑戦も続けています。

その一つが、日用品や寝具などに使われるウレタン製品の開発とブランド化です。こうした私たちが日常で使っている製品の開発には、「消費者の目線」が欠かせません。そこで、開発部門に女性社員を置くことで、女性の視点や感性からより良い製品を生み出すことができるのではないかと考えています。

浮津さんは、ものづくりの開発現場で頑張る貴重な人材です。今後の成長と活躍に大いに期待しています。

株式会社東北イノアック

ウレタン・ゴム・プラスチックの化学系素材メーカー。自動車・自転車、情報機器、住宅・建材、インフラ、医療・介護福祉、生活用品、寝具家具など、幅広い製品領域に関わる。小牛田工場（美里町）、若柳工場（栗原市）、北上工場（岩手県北上市）の3つの生産拠点で、業界の多様なニーズに応えている

遠田郡美里町北浦字二又下 28
TEL 050-3145-5836
FAX 0229-34-2303

<https://www.tohoku-inoac.co.jp/>
従業員数 242人 / 女性 55人 (2018年1月現在)



物 心ついたときから、父や祖父が手づくりしたおもちゃで遊んでいた私は、自然とものづくりに興味を持ちました。そして、地元工業高校を卒業後は、祖父が長年勤めていたために以前から知っていたこの会社に入社しました。

「私以外にどれくらい女性の社員が働いているのだろう」「力仕事が多くて足手まといになってしまっているのでは」と入社前はいろいろ心配していましたが、実際に入社すると、工場では女性がたくさん働いていて、同期入社社員にも女性がいたので安心しました。

実家は石巻市内なので、入社と同時に一人暮らしをしています。休みの日は、実家に帰って家族や

友達と過ごしています。そのため、高校を卒業してすぐに自動車の免許を取りました。

愛車に乗って県内のいろいろな場所へ行くことができるので、高校生の時よりもずいぶん世界が広がりました。また、県内で行われている様々なイベントに出して、私がデザインしたキャラクターグッズが実際に置かれている現場を確認したり、製品化できそうなゆるキャラの発掘をしたりしています。

ものづくりの魅力は、自分が作ったものがずっと形に残ることです。これからは、たくさんのお客さんに喜ばれ、愛されるような製品をデザインしてこの世に送り出していきたいです。

入社してすぐに マイカーをゲット。 休みの日は県内中を ドライブしています！



5月に友達と訪れた松島でのオフショット。「納車したばかりの愛車で、最高の一日を過ごしました」

地域で愛される いろんなキャラクターを デザインするのが とても楽しいです！



みやぎ ものづくり女子 「ウレタン製品を 作っています」

株式会社東北イノアック（美里町）

うきつ あまね
浮津 天音さん
入社1年目



パソコンでキッチンスポンジのデザインをする。デザインが決まると試作用の機械（手前）にデータが送られ、デザイン通りのスポンジが抜き出される

ウレタンやゴムなどの製品を作っている会社で、新商品の企画開発の仕事をしています。私が担当する製品は、自治体や企業のPRなどで使用するウレタン製のキッチンスポンジやパネル、オブジェなどです。

キャラクターのイラストをもとに、パソコンで使用するスポンジの色や抜き出す部分など製品のデザインを決めてから試作品を製作。これをもとに製品の抜型が作られます。キッチンスポンジのように小さな製

品のデザインでは、キャラクターのイメージを崩さずに仕上げるのが大変で、試作を繰り返しながら微調整します。完成したスポンジを見たお客様から「イメージ通りだね」と喜んでいただいた時、とてもうれしくやりがいを感じます。

入社1年目の私にとって、パソコンのデザインソフトや試作に使う機械の操作など初めて経験することは、私にとって、プレッシャーを感じていますが、とにかく分からないことがあったら先輩に聞いて、たくさん技術と知識を身に付けていきたいです。

私たちの部署でひそかに掲げている目標は、宮城県内の各自治体で公認されている「ゆるキャラ」をモチーフにしたキッチンスポンジの制覇です。仕事や休みの日に外出した時に、作ったことのないキャラクターを見かけると、「どうやったなら、スポンジの抜型になるだろう」と思わずデザインを考えてしまいます。

今のところ完成させたのは14種類。目標達成までの道のりは遠いですが、コツコツと頑張りたいです。